

【第4回】 習志野市制施行70周年記念事業実行委員会 議事要旨

1 開催日時 令和6年4月23日(火)午後1時30分～午後3時30分

2 開催場所 習志野市庁舎3階 特別会議室

3 出席者

【構成員】	市長【会長】	宮本 泰介	習志野市議会議長【副会長】	佐々木 秀一
	副市長	遠藤 良宣	教育長	小熊 隆
	企業管理者	市川 隆幸	習志野市社会福祉協議会会長	欠席
	習志野商工会議所会頭	芦澤 直太郎	習志野市農業委員会会長	欠席
	習志野市芸術文化協会会長	中谷 時男	習志野市スポーツ協会会長	伊藤 寛
	習志野市連合町会連絡協議会会長	鈴木 とし江	習志野市小・中学校長会会長	宮崎 晶子
【事務局】	総務部長	竹田 佳司	総務部次長	吉岡 治
	総務課長	中野 幸子	総務課管理係長	小嶋 佳苗
	総務課主任主事	永田 純	総務課主任主事	林 優樹
	総務課主任主事	齋木 若菜		

4 議題

第1 会議の公開について

第2 会議録の作成等

第3 会議録署名委員の指名

第4 報告

(1) 令和5年度事業報告について

(2) 令和5年度決算報告について

第5 審議

(1) 令和6年度事業計画(案)について

(2) 令和6年度予算(案)について

(3) 習志野市制施行70周年特別功労表彰(案)について

(4) 70周年記念式典 式次第(案)について

第6 その他(事務連絡等)

(1) 令和6年度の会議日程について

5 議事内容

日程第1 会議の公開について

会議は要綱の規定により、原則公開となっているため公開すること、ただし、内容により公開・非公開の判断が必要となった際は、その都度諮ることで承認された。

日程第2 会議録の作成等

会議録については要点筆記とし、市ホームページ及び市役所グランドフロアの情報公開コーナーにおいて、公開することで承認された。

日程第3 会議録署名委員の指名

会長から遠藤委員が指名された。

日程第4 報告

(1) 令和5年度事業報告について

【議事概要】

- ・実行委員会及び企画準備委員会の会議の開催状況として、実行委員会については、5月、8月、11月と3回開催した。企画準備委員会は、事前説明会を含め、全9回実施している。
- ・実行委員会、企画準備委員会いずれも会議の内容は、主にキャッチフレーズ・ロゴマークの決定や、記念事業の選考を行った。
- ・キャッチフレーズは、企画準備委員会の委員案の中から選考し、決定した。
- ・ロゴマークについては、プラッツ習志野で活躍するクリエイターズクラブのメンバーを対象に公募し、選考を行った。これらについては広報習志野やプレスリリースなど、様々な形で周知している。
- ・記念事業は、各部からの提案を基に、実行委員会及び企画準備委員会にて選考を行った。
- ・広報 PR 事業は、4つの物品を作成し、設置や配布を行った。1つ目のロゴマークウッドピンバッジについては、職員や審議会の委員など、関係者に配布している。2つ目の、のぼり旗については、実行委員会での意見を参考に、両面印刷で作成し、市役所庁舎内や公民館等に設置するとともに、冠事業の主催者に対して貸し出しも行っている。3つ目のミニフラッグについては、習志野市商店会連合会の協力のもと、各商店街の店舗等にて掲示していただく。最後の横断幕は、市内の小中学校、習志野高校にて掲示している。この横断幕は、記念事業の一つである航空写真集の制作会社から無償で提供されているため、費用はかかっていない。
- ・ウッドピンバッジについては、5月15日から市役所総務課窓口にて販売を行う予定である。値段は1つ200円で、販売個数は700個となる。

(2) 令和5年度決算報告について

【議事概要】

＜歳入＞

- ・市からの補助金300万円に加えて、銀行の預金利息として18円の収入があった。このことから、収入額の合計が300万18円となっている。

＜歳出＞

- ・報償費は企画準備委員会委員の報償費及びロゴマークの最優秀賞の作成者への賞金となっている。
- ・需用費のうち消耗品費は、広報 PR 物品であるのぼり旗40本及びミニフラッグ450個を作成した。食糧費は、企画準備委員会のお茶代である。
- ・役務費は、冠事業への協力依頼を全町会・自治会等へ周知した際の郵送料や、支払いに伴う振込手数料となっている。
- ・委託料は、ウッドピンバッジの作成に伴う委託料である。このウッドピンバッジの作成は間伐材の加工を伴うため、消耗品費ではなく、委託料として支出している。
- ・補助金の精算に伴い、事業費の残金である、5万7,868円を習志野市へ返還している。
- ・支出額の合計が300万18円である。

日程第5 審議

(1) 令和6年度事業計画(案)について

【議事概要】

- ・令和6年度に実施する事業として、「記念式典」は、令和6年10月26日(土)13時30分より開催を予定している。また、開催場所は海浜幕張にある東京ベイ幕張ホールを予定しており、招待者数は来賓や特別功労表彰者など、約1,000人を見込んでいる。
- ・記念事業は、14事業を予定しており、各課にて実施に向けて検討中である。
- ・冠事業は、各部で例年実施する事業に冠名を付け、70周年をPRするものである。14ページに記載の市民団体が実施している冠事業とあわせて、令和6年4月10日現在で84事業が冠事業として申請されている。各団体の冠事業では、貸出用ののぼり旗やロゴマークの使用により、70周年を盛り上げていただいている。
- ・広報PR事業では、啓発物品や横断幕の他、広報習志野での特集など、様々な形で広報PR活動を行っていく。
- ・各委員の意見を基に、会長及び副会長に決定が一任され、後日報告することとなった。

(2) 令和6年度予算(案)について

【議事概要】

＜歳入＞

- ・市からの補助金は1,430万7,000円である。

＜歳出＞

- ・報償費は、企画準備委員会委員の報償費や、記念式典の司会者謝礼、特別功労表彰者への記念品代である。
- ・旅費は、記念式典における応援職員等の会場までの旅費である。
- ・需用費のうち、消耗品費は一般消耗品等、印刷製本費は記念式典の案内状や手提げ袋、特別功労表彰の賞状印刷代等である。食糧費は、企画準備委員会や記念式典の出演者のお茶代等である。
- ・役務費は、記念式典の案内状送付にかかる郵送代や、振込手数料等である。
- ・委託費は、記念式典における習志野高校吹奏楽部の楽器運搬に係る委託費や記念式典会場の設営委託費等を見込んでいる。
- ・使用料は、記念式典の会場使用料等である。
- ・支出額の合計が1,430万7,000円である。

(3) 習志野市制施行70周年特別功労表彰(案)について

【議事概要】

- ・特別功労表彰は、習志野市制施行70周年を記念し、市政の発展、公共の福祉増進及び文化の興隆等に尽力され、顕著な功労のあったものを表彰するもので、本年10月26日に開催する「記念式典」の中で表彰する予定となっている。
- ・表彰区分については、「A 自治功労表彰」、「B 学校教育功労表彰」、「C 社会教育功労表彰」、「D 文化・スポーツ功労表彰」、「E 健康福祉功労表彰」、「F 経済産業功労表彰」、「G ボランティア功労表彰」とあり、「H 特別表彰」の8分野に分かれている。
- ・基準日は、本年10月26日である。

- ・表彰対象者は、「平成26年8月1日以降に基準年数を達成したもの」又は、「同じ役職で平成26年度から令和6年度の基準日までの間、継続して在職されているもの」となる。
- ・今回の表彰基準(案)は、前回の60周年時を参考に作成しているが、改正点が大きく4点ある。
- ・1点目は、表彰名である。これまでの周年時は「〇〇周年記念市政功労者表彰」であったが、毎年実施している「習志野市市政功労者表彰」との区別がしづらいことから、今回は表彰の名称を「習志野市制施行70周年記念特別功労表彰」とすることで、毎年の市政功労者表彰と差別化を図った。
- ・2つ目に、毎年実施している「市政功労者表彰」の役職のうち、周年の表彰には記載がない役職があったため、これを追加した。
- ・3つ目は、市民団体等についての表彰である。60周年時の基準には、推薦基準が明文化されていなかったため、市民団体の多くが、「その他の一件審査」として上申された。これについては、より公平に推薦がされるよう、今回は次の5つの基準を加えた。①「市の各分野に貢献し、他の模範となる団体として、本市への貢献が明らかである団体」を限定列挙した。②国、他の地方公共団体等から表彰を受けた人又は団体、③相互の連携、協力により、地域の活性化と市民サービス向上を推進する等の理由により、協定を締結している団体、④健康福祉功労における、災害時における要配慮者の受け入れに関する協定書を締結する団体、⑤経済産業功労における「市内事業所」として、60年以上営業しているという、年数の基準を設けた。
- ・4つ目に、自治功労表彰に地域の防犯パトロールを実施している「防犯指導員」を追加した。
- ・最後に、予備調査による表彰区分別推薦者数としては、877人の上申が見込まれている。
- ・今後のスケジュールについては、実行委員会後、会長決裁にて表彰基準を決定し、庁内全ての部署に上申依頼を行う。各部局から上申された表彰候補者(案)については、事務局にて取りまとめ、次回の8月8日に開催される第5回実行委員会にて、表彰候補者の審査を行っていただく。その後、審査の結果を受け、会長決裁により表彰者を決定することとなる。

(4) 70周年記念式典 式次第(案)について

【議事概要】

- ・今回の記念式典の次第については、60周年時を参考に作成しているが、変更点としては、70周年記念事業で作成する記念動画の放映と習志野高校吹奏楽部による記念演奏がある。記念演奏の詳細については、習志野高校と協議の上、決定していく。

日程第6 その他

(1) 令和6年度の会議日程について

事務局より令和6年度の日程について報告があった。